

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年11月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人(11世帯)	(回答者数) 7人
○従業者評価実施期間	令和6年11月13日		～ 令和6年11月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月30日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ●活動プログラムの中や個別支援、自由時間の中で楽しめる事を提供し、伸び伸びと参加できる環境作りをしている。 ●体調管理や利用者様の心身の状況に応じて対応を行っている。事故防止、未然防止、危険予測、感情予測を行い、常に安全に留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●活動と自由時間のメリハリをつけて切替がスムーズにできるよう工夫しています。 ●状況によって臨機応変に対応できるよう、利用者様の体調や表情、声や視線を確認し、安全に過ごす事ができるよう取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●職員間での申し送りやミーティングで共通の認識で支援対応を行う。それぞれの役割を持って取り組む。
2	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者様のお仕事の状況に応じて時間の調整を行う。学校の休校日や送迎時間に反映させて、デイサービスと訪問や移動・行動援護との組み合わせを行い、臨機応変な対応と長時間支援を行う事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者様、保護者様のニーズやお仕事の状況を確認、ご相談の中で可能な支援をご提案する。時間などの調整もを行い、臨機応変な対応ふあできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の人数の充実と計画的な支援プログラムと送迎時間調整の取り組みを行う。
3	<ul style="list-style-type: none"> ●集団活動以外に関りの中でソーシャルスキルを身に付ける。 ●活動では様々な場所への外出活動をしている。 ●クッキングでは季節の食材を使用し、季節と材料の形や色の変化を感じ、楽しみながら食への興味を高めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者様のコミュニティを作り、お互いがどのようにしたら楽しく過ごす事ができるかをコミュニケーションを取り実践で学んでいく。お互い思いやりを持つ事ができるよう支援を行っている。 ●外出先選定の際に利用者様の希望をお聞きし、クッキングの際には後かたづけまで全員で行うよう楽しみと自立の訓練もできるよう指導している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域社会に出てモルルールを守り、思いやりを持ち、職員が入るが干渉しすぎず、コミュニティやゲームの中でどのような言葉かけや行動が必要か実践で体感し成長できるよう支援に取り組む。 ●事業所内にとどまらず、外部との交流や地域行事への参加、利用者様や保護者様、職員からの意見や提案など、視野を広げて、選択肢の幅が広がるよう支援提供に取り組む。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所内の環境整備、ツールの充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ●デイルームの広さ、人数、混雑、密集に対して刺激が多い。空間を最大限に活かしていない。 ●適材適所にツールを支援に活かしかれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●空間を活かせるような人や物の配置を意識する。 ●視覚支援やタブレットを使用する場合はどの利用者様へ向けて、どのような理由があるから必要であり使用するかの目的を再度確認し支援を行うよう確認し、工夫して支援に反映させる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の経験と知識、技術。資格取得の為の時間。 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期的な研修や勉強会を行い、資格取得の為の研修参加を行っているが、人員不足から参加できる日程や時間の調整がすくには困難な場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●知識や技術の共有や資格取得の希望に添えるよう人員調整も含めて取り組んでいく。主体的に学びに取り組めるようシステムを行った。
3	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者様の休憩や自由時間での過ごし方について。 	<ul style="list-style-type: none"> ●切替できる時間も必要であり、自由な時間での過ごし方が固定化されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●小集団活動として利用者様による小さなコミュニティを増やし、関りを少しずつ広げていけるよう工夫や働き替えを行う。人とのコミュニケーションに興味関心が持てるよう職員が入りながら取り組む。